

IBM Tivoli Netcool/
OMNIbus 向け Dell
OpenManage
Connection 1.0
インストールガイド



メモ



メモ：コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。

本書の内容は予告なく変更されることがあります。
© 2011 すべての著作権は Dell Inc. にあります。

Dell Inc. の書面による許可のない複製は、いかなる形態においても厳重に禁じられています。

本書に使用されている商標：Dell™、DELL ロゴ、PowerEdge™、PowerVault™、OpenManage™、および EqualLogic™ は Dell Inc. の商標です。Microsoft® および Windows® は米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。IBM Tivoli® Netcool®/OMNIBus は米国および/またはその他の国における IBM Corporation の登録商標です。Red Hat Enterprise Linux® および Enterprise Linux® は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の登録商標です。VMware® および ESXi® は米国またはその他の国における VMware, Inc. の登録商標または商標です。Java® は米国における Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。Oracle® は Oracle Corporation および/またはその関連会社の登録商標です。

商標または製品の権利を主張する事業体を表すためにその他の商標および社名が使用されていることがあります。それらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に帰属するものではありません。

目次

1	はじめに	5
2	必要条件	5
	管理を行うシステムの要件	5
	管理対象システムの要件	6
	Netcool/OMNibus 向け Dell OpenManage Connection ファイルおよびフォルダの詳細	6
	Netcool/OMNibus コンポーネントのための統合詳細	7
3	Netcool/OMNibus 向け Dell Open Manage Connection のインストール	8
	プローブ統合のインストール	9
	ObjectServer 統合のインストール	10
	ObjectServer での Dell Server Administrator ウェブサーバーコンソールの設定	11
	Dell サーバー用デスクトップ統合のインストール	12
	Web GUI 統合のインストール	14
	Dell Server Configurator Utility	16

Web GUI サーバーでの Dell ツールメニューの アップデート	17
Dell ツールメニューの設定	18
Linux システム向け Web GUI サーバーでの Server Administrator 起動ツールの設定	18
Dell OpenManage Connection の アンインストール	19
プローブ統合のアンインストール	19
ObjectServer 統合のアンインストール	19
デスクトップ統合のアンインストール	20
Web GUI 統合のアンインストール	21

はじめに

本ガイドには、IBM Tivoli Netcool/OMNIBus (Netcool/OMNIBus) 向け Dell OpenManage Connection をセットアップするためのソフトウェア前提条件および要件についての情報が記載されています。本ガイドでは、Netcool/OMNIBus コンポーネントに Dell OpenManage Connection 統合コンポーネントを手動でインストールするための手順を説明します。

必要条件

次の前提条件を完了してください。

管理を行うシステムの要件

表 1-1 には、Netcool/OMNIBus コンポーネントがインストールされているシステムに Dell OpenManage Connection を統合するための要件がリストされています。

表 1-1 IBM Netcool/OMNIBus コンポーネント要件

コンポーネント	要件	目的
ブローブ	MTTrapd シンプルネットワーク管理プロトコル (SNMP) ブローブおよび OMNIBus NCKL を設定します。	Dell デバイスによって送信された SNMP トラップの受信と処理
ObjectServer	confpack コーティリシティをインストールおよび設定します。	Dell 統合自動化トリガ、ツール、メニュー、および変換クラスのインポート
デスクトップ	デスクトップと Dell デバイス間の SNMP 通信が確立されていることを確認します。	OMSA 起動ツールにある OpenManage Server Administrator (OMSA) URL の取得
Web GUI	OMNIBus Web GUI および WAAPI をインストールおよび設定します。 Web GUI サーバーと管理対象 Dell システム間の SNMP 通信チャンネルが確立されていることを確認します。	Dell OpenManage Connection のサポート OMSA 起動ツールにある OMSA URL の取得

管理対象システムの要件

表 1-2 には、Dell OpenManage Connection によって管理されるシステムの要件がリストされています。

表 1-2 管理対象システムの要件

Dell デバイス	要件
Dell Windows システム	<ul style="list-style-type: none">• OMSA バージョン 6.1 ~ 6.5• SNMP サービス
Dell Linux システム	<ul style="list-style-type: none">• OMSA バージョン 6.1 ~ 6.5• SNMP サービス
Dell ESXi システム	<ul style="list-style-type: none">• ESXi バージョン 4.0 U1 以降• OMSA バージョン 6.1 ~ 6.5• SNMP サービス
Dell EqualLogic ストレージアレイ	ファームウェアバージョン 5.0 および 5.1

Netcool/OMNibus 向け Dell OpenManage Connection ファイルおよびフォルダの詳細

Netcool/OMNibus 向け Dell OpenManage Connection は zip ファイルにパッケージされています。この zip ファイルは support.dell.com からダウンロードできます。zip ファイルを解凍すると、次のファイルが抽出されます。

- **Dell_Server_Integration_v1_0.zip**
- **Dell_EqualLogic_Integration_v1_0.zip**
- **Dell_OMC_1_0_For_IBM_OMNibus_IG.pdf**
- **Dell_OMC_1_0_ReadMe.txt**
- **license_en.txt**

Dell サーバーおよび Dell EqualLogic ストレージアレイそれぞれを監視するには、対応する Netcool/OMNibus コンポーネントに zip ファイルの内容を展開する必要があります。

Netcool/OMNibus コンポーネントのための統合詳細

Dell_Server_Integration_v1_0.zip および

Dell_EqualLogic_Integration_v1_0.zip の内容を抽出します。

次の表 1-3 には、Netcool/OMNibus コンポーネントおよび Dell OpenManage Connection 用統合フォルダがリストされています。対応するフォルダからの Dell OpenManage Connection の統合ファイルを Netcool/OMNibus のコンポーネントフォルダに展開します。

表 1-3 Netcool/OMNibus コンポーネント

コンポーネント	統合フォルダ
プローブ	probe_integration — Dell サーバーおよび Dell EqualLogic ストレージレイ用のルールおよびルックアップテーブルが含まれています。
ObjectServer	objectserver_integration — エクスポートされた Dell 統合自動化トリガ、ツール、メニュー、および変換クラスが含まれています。
デスクトップ	desktop_integration — 次のタスクに必要なユーティリティまたはツールが含まれています。 <ul style="list-style-type: none">• SNMP コミュニティ名の文字列の設定• Netcool/OMNibus デスクトップからの Server Administrator コンソールの起動• Netcool/OMNibus デスクトップからの Server Administrator ウェブサーバーの起動 メモ： この統合は、 Dell_EqualLogic_Integration_v1_0.zip には含まれていません。
Web GUI	webgui_integration — 次のタスクに必要な Dell 統合ツール、メニュー、およびアプリケーションが含まれています。 <ul style="list-style-type: none">• SNMP コミュニティ名の文字列の設定• Netcool/OMNibus Web GUI からの Server Administrator コンソールの起動• Netcool/OMNibus Web GUI からの Server Administrator ウェブサーバーの起動• Netcool/OMNibus Web GUI からの EqualLogic Group Manager コンソールの起動

Netcool/OMNIbus 向け Dell OpenManage Connection のインストール

Netcool/OMNIbus 向け Dell OpenManage Connection をインストールするには、Netcool/OMNIbus コンポーネントをインストールしたシステムに、[Netcool/OMNIbus コンポーネントのための統合詳細](#)で説明されている通りにコンポーネント固有のファイルを抽出する必要があります。

ファイルの展開を開始する前に、次を行ってください。

- 1 **support.dell.com** から **Dell_OpenManage_Connection_for_OMNIbus_v1_0.zip** ファイルをダウンロードし、任意のフォルダに内容を抽出します。
次のファイルが抽出されます。
 - **Dell_Server_Integration_v1_0.zip**
 - **Dell_EqualLogic_Integration_v1_0.zip**
 - **Dell_OMC_1_0_For_IBM_OMNIbus_IG.pdf**
 - **Dell_OMC_1_0_ReadMe.txt**
 - **license_en.txt**
- 2 このフォルダに次のファイルが含まれている事を確認します。
 - **Dell_Server_Integration_v1_0.zip**
 - **Dell_EqualLogic_Integration_v1_0.zip**
- 3 別のフォルダに **Dell_Server_Integration_v1_0.zip** の内容を抽出します。これには次のフォルダが含まれています。
 - **probe_integration**
 - **webgui_integration**
 - **desktop_integration**
 - **objectserver_integration**
- 4 別のフォルダに **Dell_EqualLogic_Integration_v1_0.zip** の内容を抽出します。これには次のフォルダが含まれています。
 - **probe_integration**
 - **webgui_integration**
 - **objectserver_integration**
- 5 Netcool/OMNIbus コンポーネント をインストールしたシステムのいずれかに Netcool システム管理者としてログインします。

プローブ統合のインストール

Dell_Server_Integration_v1_0.zip にある **probe_integration** フォルダには、Dell サーバートラップ用のルールおよびルックアップファイルが収められています。これには、サーバ統合用のバージョンファイル、**dellserver_int_mttrapdprobe.ver** も含まれています。

Dell_EqualLogic_Integration_v1_0.zip にある **probe_integration** フォルダには、Dell EqualLogic トラップ用のルールおよびルックアップファイルが収められています。これには、EQL 統合用のバージョンファイル、**dellserver_int_mttrapdprobe.ver** も含まれています。これらのファイルは、SNMP MTTrapd プローブと統合されます。

Dell サーバおよび Dell EqualLogic トラップの統合を展開するには、次の手順を実行します。

- 1 **probe_integration** にある **dell** フォルダをコピーし、プローブコンポーネントをインストールしたシステムの **%NC_RULES_HOME%/include-snmpttrap** フォルダ内に置きます。
- 2 マスタープローブのルールファイルを開き、次の手順を実行します。
 - a **include rules** セクションに次の文字列を追加します。

```
include "$NC_RULES_HOME/include-snmpttrap/dell/dell.master.include.rules"
```
 - b **include lookup table** セクションに次の文字列を追加します。

```
include "$NC_RULES_HOME/include-snmpttrap/dell/dell.master.include.lookup"
```
- 3 コピーされたデルフォルダおよびその中にあるファイルには、IBM ガイドライン通りに、プローブルールのための適切なパーミッションがあることを確認してください (IBM Netcool/OMNIBus マニュアルを参照)。
- 4 Dell サーバートラップに固有の次の手順を実行してください。
 - a **dell.master.include.lookup** ファイルにある **dell-StorageManagement-MIB.include.snmpttrap.lookup** ファイルの **include** ステートメントをアンコメントします。
 - b **dell.master.include.lookup** ファイルにある **dell-MIB-Dell-10892.include.snmpttrap.lookup** ファイルの **include** ステートメントをアンコメントします。
 - c **dell.master.include.rules** ファイルにある **dell-StorageManagement-MIB.include.snmpttrap.rules** ファイルの **include** ステートメントをアンコメントします。
 - d **dell.master.include.rules** ファイルにある **dell-MIB-Dell-10892.include.snmpttrap.rules** ファイルの **include** ステートメントをアンコメントします。

- 5 Dell EqualLogic トラップに固有の次の手順を実行してください。
 - a **dell.master.include.lookup** ファイルにある `equalLogic-EQLMEMBER-MIB.include.snmptrap.lookup` ファイルの `include` ステートメントをアンコメントします。
 - b **dell.master.include.lookup** ファイルにある `equalLogic-EQLDISK-MIB.include.snmptrap.lookup` ファイルの `include` ステートメントをアンコメントします。
 - c **dell.master.include.rules** ファイルにある `equalLogic-EQLMEMBER-MIB.include.snmptrap.rules` ファイルの `include` ステートメントをアンコメントします。
 - d **dell.master.include.rules** ファイルにある `equalLogic-EQLDISK-MIB.include.snmptrap.rules` ファイルの `include` ステートメントをアンコメントします。
- 6 OMNibus MTTTrapd SNMP プローブサーバーを再起動します。

ObjectServer 統合のインストール

objectserver_integration フォルダには、Dell サーバー用の **dell_server_confpack_v_1_0.jar** ファイル、および Dell EqualLogic ストレージレイ用の **dell_equallogic_confpack_v_1_0.jar** ファイルが収められています。これらの jar ファイルには、エクスポートされた Dell 統合自動化トリガ、ツール、メニュー、および変換クラスが含まれています。

objectserver_integration フォルダには、サーバー統合用のバージョンファイル **dellserver_int_objectserver.ver**、および EQL 統合用の **delleql_int_objectserver.ver** も収められています。

ObjectServer をホストするシステムに Dell 統合コンポーネントを展開するには、次の手順を実行します。

- 1 OMNibus ObjectServer にアクセスするため、必要なセキュリティ権限で次のコマンドを実行します。

Windows の場合

```
Dell サーバーには、%OMNIHOME%\bin\nc_co_confpack.bat -import  
-server <ObjectServer> -user <username> -package  
<copied folder>%dell_server_confpack_v_1_0.jar、または
```

```
Dell EqualLogic ストレージレイには、  
%OMNIHOME%\bin\nc_co_confpack.bat -import -server  
<ObjectServer> -user <username> -package <copied  
folder>%dell_equallogic_confpack_v_1_0.jar。
```

Linux の場合

Dell サーバーには、`$OMNIHOME/bin/nco_confpack -import -server <ObjectServer> -user <username> -package <copied folder>/dell_server_confpack_v_1_0.jar`、または

Dell EqualLogic ストレージアレイには、`$OMNIHOME/bin/nco_confpack -import -server <ObjectServer> -user <username> -package <copied folder>/dell_equallogic_confpack_v_1_0.jar`。

- 2 デスクトップのイベントリストで、**File** (ファイル) → **Resync** (再同期化) → **All** (すべて) とクリックします。これにより、**jar** ファイルからアップデートされた Dell ツールおよび変換クラス用の新規追加メニューアイテムが同期化されます。

 **メモ**：再同期化は、ObjectServer 統合でのみ実行できます。

- 3 ObjectServer がインストールされたシステムの **%OMNIHOME%** ディレクトリに、Dell EqualLogic 統合には **delleql_int_objectserver.ver** ファイルを、Dell サーバー統合には **dellserver_int_objectserver.ver** ファイルをコピーします。

ObjectServer での Dell Server Administrator ウェブサーバーコンソールの設定

Dell Server Administrator ウェブサーバーコンソールは、設定された URL を使用してデフォルトブラウザにコンソールを起動します。

Windows システム用のウェブサーバーコンソール URL を設定するには、次の手順を実行します。

- 1 OMNibus ObjectServer へのアクセス、および NCOMS ObjectServer へのログインに必要なセキュリティ権限を入力します。
- 2 **Configuration** (設定) ウィンドウで、**Menus** (メニュー) → **Tools** (ツール) と選択します。
- 3 右ペインで **Dell Server Administrator Web Server Console** (Dell Server Administrator ウェブサーバーコンソール) をダブルクリックして、**Tool Details** (ツール詳細) ウィンドウを立ち上げます。
- 4 実行可能タブをクリックし、次のコマンドを編集します。

```
<Server Administrator ウェブサーバーホスト /IP>:<Server Administrator ウェブサーバーポート  
≥/omalogin.html?managedws=false &mnip=@Node
```

Server Administrator ウェブサーバーの IP アドレスとポートを入力する必要があります。例：**10.95.145.156:1311**。詳細については、**Server Administrator** マニュアルを参照してください。

Linux システム用のウェブサーバーコンソール URL を設定するには、次の手順を実行します。

- 1 前述の手順 1 および 2 を繰り返します。
- 2 右ペインで **Dell Server Administrator Web Server Console (Linux)** (Dell Server Administrator ウェブサーバーコンソール (Linux)) をダブルクリックして、**Tool Details** (ツール詳細) ウィンドウを立ち上げます。
- 3 実行可能タブをクリックし、次のコマンドを編集します。<Server Administrator ウェブサーバーホスト /IP>:<Server Administrator ウェブサーバーポート >/omalogin.html?managedws=false &mnip=@Node
Server Administrator ウェブサーバーの IP アドレスとポートを入力する必要があります。例：10.95.145.156:1311。詳細については、Server Administrator マニュアルを参照してください。

Dell サーバー用デスクトップ統合のインストール

Dell サーバー用 **desktop_integration** フォルダには、次のファイルが含まれています。

- **dell_OMNibus_Connection_SNMP_Configurator_v_1_0.jar** — SNMP コミュニティ名文字列の設定に使用されます。
- **dell_OMNibus_Connection_SNMP_Helper_v_1_0.jar** — OpenManage Server Administrator (OMSA) URL を起動するために使用されます。
- **snmp4j-2.0.0.jar** — Dell Server Configurator コーティリシティを使用して SNMP コミュニティを設定するために使用されます。
- **dell_config.properties** — 暗号化された SNMP コミュニティ文字列が含まれています。
- **dellserver_int_desktop.ver** — サーバー統合用のバージョンファイルです。

デスクトップクライアントをホストするシステムに Dell 統合コンポーネントを展開するには、次の手順を実行します。

- 1 デスクトップクライアントをインストールしたシステムの %OMNIHOME% ディレクトリに、**dell_OMNibus_Connection_SNMP_Configurator_v_1_0.jar**、**dell_OMNibus_Connection_SNMP_Helper_v_1_0.jar**、**snmp4j-2.0.0.jar**、**dellserver_int_desktop.ver**、および **dell_config.properties** ファイルをコピーします。

- 2 **DellServerConfigurator** java ユーティリティを使用して SNMP コミュニティを設定します。詳細については、[Dell Server Configurator Utility](#) を参照してください。

Web GUI 統合のインストール

Dell サーバー用 **webgui_integration¥import** フォルダには、次のフォルダおよびファイルが含まれています。

- **dell_OMNibus_Connection_SNMP_Configurator_v_1_0.jar** — SNMP コミュニティ名文字列の設定に使用されます。
- **dell_OMNibus_Connection_SNMP_Helper_v_1_0.jar** — OpenManage Server Administrator (OMSA) URL を起動するために使用されます。
- **snmp4j-2.0.0.jar** — Dell Server Configurator ユーティリティを使用して SNMP コミュニティを設定するために使用されます。
- **dell_config.properties** — 暗号化された SNMP コミュニティ文字列が含まれています。
- **export.xml** — Dell サーバーの Web GUI 統合用のエクスポートされたツールおよびメニューアイテムが含まれています。
- **dellserver_int_webgui.ver** — サーバー統合用のバージョンファイルです。

webgui_integration¥import¥config¥cgi-bin フォルダには次が含まれています。

- **omsalauncher_linux.cgi** — Linux システムにインストールされた Web GUI で Server Administrator Console を起動するための cgi スクリプトです。
- **omsalauncher_nt.cgi** — Windows システムにインストールされた Web GUI で Server Administrator Console を起動するための cgi スクリプトです。

Dell EqualLogic ストレージレイ用 **webgui_integration¥import** フォルダには、次のファイルが含まれています。

- **export.xml** — Dell EqualLogic ストレージサーバーの Web GUI 統合用のエクスポートされたツールおよびメニューアイテムが含まれています。
- **dellserver_int_webgui.ver** — サーバー統合用のバージョンファイルです。



メモ：このインポートフォルダには .cgi スクリプトファイルは存在しません。

Web GUI をホストするシステムに Dell 統合コンポーネントを展開するには、次の手順を実行します。

- 1 Web GUI コンポーネントをインストールしたシステムの <Web GUI インストールディレクトリ> に **dell_OMNibus_Connection_SNMP_Configurator_v_1_0.jar**、**dell_OMNibus_Connection_SNMP_Helper_v_1_0.jar**、**snmp4j-2.0.0.jar**、および **dell_config.properties** ファイルをコピーします。
- 2 **DellServerConfigurator** java ユーティリティを使用して SNMP コミュニティを設定します。詳細については、[Dell Server Configurator Utility](#) を参照してください。
- 3 Web GUI コンポーネントがインストールされているシステムに、Dell EqualLogic 統合には **delleql_int_webgui.ver** ファイル、Dell サーバーには **dellserver_int_webgui.ver** を <Web GUI インストールディレクトリ> にコピーします。
- 4 Web GUI を再起動します。
- 5 **webgui_integration** フォルダを抽出した場所にあるインポートフォルダに移動して、次のコマンドを実行します。

```
<Web GUI インストール場所>¥waapi¥bin¥runwaapi -host <ホスト名> -user <Web GUI ユーザー名> -password <Web GUI パスワード> -file export.xml.
```

Dell サーバーコンポーネントファイルと Dell EqualLogic コンポーネントファイルの両方をインストールする場合、**runwaapi** コマンドを 2 回実行して、すべての関連ファイルがコピーされたことを確実にする必要があります。



メモ：手順 1 および 2 が適用されるのは、Dell サーバーのみです。

Dell Server Configurator Utility

デスクトップ用 Dell Server Configurator Utility

SNMP コミュニティ文字列の設定に Dell Server Configurator Utility を使用するには、次の手順を実行します。

- 1 デスクトップコンポーネントがインストールされているシステムの OMNIHOME ディレクトリに移動します。
- 2 デスクトップに次のコマンドを実行します。

Windows の場合

```
%NCHOME%\platform\< 特定のプラットフォーム  
>%jre_1.6.7%\jre\bin\java -Ddell.config.path=desktop -  
classpath  
%NCHOME%\omnibus\dell_OMNIBus_Connection_SNMP_Configura  
tor_v_1_0.jar;%NCHOME%\omnibus\snmp4j-2.0.0.jar  
com.dell.openmanage.connections.SnmpConfigurator
```

Linux の場合

```
$NCHOME/platform/< 特定のプラットフォーム  
>/jre_1.6.7/jre/bin/java -Ddell.config.path=desktop -  
classpath  
$NCHOME/omnibus/dell_OMNIBus_Connection_SNMP_Configurat  
or_v_1_0.jar:$NCHOME/omnibus/snmp4j-2.0.0.jar  
com.dell.openmanage.connections.SnmpConfigurator
```

Web GUI 用 Dell Server Configurator Utility

SNMP コミュニティ文字列の設定に Dell Server Configurator Utility を使用するには、次の手順を実行します。

- 1 Web GUI コンポーネントがインストールされているシステムの Web GUI インストールディレクトリに移動します。
- 2 Web GUI に次のコマンドを実行します。

Windows の場合

```
<Web GUI インストールディレクトリ >%java%\jre\bin\java -  
Ddell.config.path=webgui -classpath  
%NCHOME%\omnibus_webgui\dell_OMNIBus_Connection_SNMP_Co  
nfigurator_v_1_0.jar;%NCHOME%\omnibus_webgui\snmp4j-  
2.0.0.jar  
com.dell.openmanage.connections.SnmpConfigurator
```

Linux の場合

```
<Web GUI インストールディレクトリ >/java/jre/bin/java -  
Ddell.config.path=webgui -classpath  
$NCHOME/omnibus_webgui/dell_OMNIBus_Connection_SNMP_Con  
figurator_v_1_0.jar:$NCHOME/omnibus_webgui/snmp4j-  
2.0.0.jar  
com.dell.openmanage.connections.SnmpConfigurator
```

Web GUI サーバーでの Dell ツールメニューのアップデート

Web GUI コンポーネントのアラートメニューで Dell ツールメニューをアップデートするには、次の手順を実行します。

- 1 Web GUI で **Alert** (アラート) メニューを編集し、**Dell Tools** (Dell ツール) メニューをアップデートします。**アラート** メニューを編集するには、次の手順を実行します。
 - a **Administration** (管理) → **Event Management Tools** (イベント管理ツール) とクリックします。
 - b **Menu Configuration** (メニュー設定) に移動します。
 - c 右ペインにある **Available Menus** (使用できるメニュー) で **Select Alerts** (アラート) を選択します。
 - d **Modify** (変更) をクリックします。
 - e **Available items** (使用できるアイテム) ドロップダウンメニューから **Menu** (メニュー) を選択します。
 - f **Current items** (現在のアイテム) に **Dell Tools** (Dell ツール) を追加します。
 - g **Save** (保存) をクリックします。
- 2 **Active Event List** (アクティブイベントリスト) を更新して、新しく追加されたメニューアイテムを同期化します。
- 3 Dell デバイスから受信するイベント用に **Dell Tools** (Dell ツール) → **Launch Dell Server Administrator Console** (Dell Server Administrator コンソールの起動)、**Launch Dell Server Administrator Web Server Console** (Dell Server Administrator ウェブサーバーコンソールの起動)、および **Launch Dell EqualLogic Group Manager Console** (Dell EqualLogic Group Manager コンソールの起動) ニューオプションが利用できることを確認します。

Dell ツールメニューの設定

Web GUI 統合のインポート時に、EqualLogic および Dell サーバー統合の両方が共存すると、Dell ツールと Dell ツールメニュー間の関連性が失われます。

Dell ツールのメニューを設定するには、次の手順を実行します。

- 1 **Web GUI** にログインします。
- 2 **Administration** (管理) → **Event Management Tools** (イベント管理ツール) とクリックします。
- 3 **Menu Configuration** (メニュー設定) を選択します。
- 4 **Available menus** (使用できるメニュー) で、**Dell Tools** (Dell ツール) を選択し、**Modify** (変更) をクリックします。
- 5 **Available items** (使用できるアイテム) ドロップダウンメニューから **tool** (ツール) をクリックします。
- 6 **Dell Tools Menu** (Dell ツールメニュー) に関連付ける必要なツールを選択して、そのツールを **Current items** (現在のアイテム) に移動させます。
- 7 **現在のアイテム** からツールを選択し、**Renam** (名前の変更) をクリックします。
Rename Menu Item Window (メニューアイテム名の変更ウィンドウ) が表示されます。
- 8 **Label name** (ラベル名) を対応する **Dell Tools** (Dell ツール) の名前に変更します。
- 9 **Save** (保存) をクリックして、ウィンドウを閉じます。
- 10 **Save** (保存) して、**Menu Editor** (メニューエディタ) ウィンドウを閉じます。
- 11 次の手順に従って、**Alert** (アラート) メニューと **Dell Tools** (Dell ツール) とを設定します。
- 12 Web GUI の左パネルで **Availability** (可用性) → **Events** (イベント) と選択します。
- 13 **Active Event List (AEL)** (アクティブイベントリスト (AEL)) をクリックします。
- 14 **Refresh event data** (イベントデータの更新) をクリックして、メニューを AEL と同期化します。
新しく関連付けられたツールが **Dell Tools** (Dell ツール) メニューに表示されることを確認します。

Linux システム向け Web GUI サーバーでの Server Administrator 起動ツールの設定

Linux システムで Dell Server Administrator の起動ツールを設定するには、次の手順を実行します。

- 1 Linux システムで実行されている Web GUI にログインします。
- 2 **Administration** (管理) → **Tool Configuration** (ツール設定) とクリックします。
- 3 **LaunchDellServerAdministratorConsole** をダブルクリックします。
- 4 URL セクションの CGI スクリプト名を **omsalauncher_linux.cgi** に変更します。

Dell OpenManage Connection のアンインストール

Netcool/OMNIbus 向け Dell OpenManage Connection をアンインストールするには、コンポーネント固有のファイルをアンインストール、または削除する必要があります。

プローブ統合のアンインストール

プローブ統合をアンインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 プローブコンポーネントをインストールしたシステムの **%NC_RULES_HOME%/include-snmpttrap** フォルダに移動します。
- 2 マスタープローブのルールファイルを開き、次の手順を実行します。
 - a **include rule** セクションの次の文字列を削除するか、コメントします。

```
include "$NC_RULES_HOME/include-snmpttrap/dell/dell.master.include.rules"
```
 - b **include lookup table** セクションの次の文字列を削除するか、コメントします。

```
include "$NC_RULES_HOME/include-snmpttrap/dell/dell.master.include.lookup"
```
- 3 **%NC_RULES_HOME%/include-snmpttrap** で **dell** フォルダを削除します。
- 4 プローブサーバーを再起動します。

ObjectServer 統合のアンインストール

ObjectServer 統合をアンインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 OMNIbus ObjectServer へのアクセス、および NCOMS ObjectServer へのログインに必要なセキュリティ権限を入力します。

- 2 **Configuration** (設定) ウィンドウで、**Menus** (メニュー) → **Tools** (ツール) と選択します。
- 3 **Launch Dell Server Administrator Console** (Dell Server Administrator コンソールの起動)、**Launch Dell Server Administrator Web Server Console** (Dell Server Administrator ウェブサーバーコンソールの起動)、および **Launch Dell EqualLogic Group Manager Console** (Dell EqualLogic Group Manager コンソールの起動) を右クリックして、**Delete** (削除) を選択します。
- 4 **Menu Configuration** (メニュー設定) に移動します。
- 5 右ペインにある **Available Menus** (使用できるメニュー) で **Alerts Menu** (アラートメニュー) を選択します。
- 6 **Dell Tools** (Dell ツール) を右クリックして **Delete** (削除) を選択します。
- 7 **Automation** (自動化) → **Triggers** (トリガ) と移動して、次のトリガを削除します。
 - **dell_omsa_clear**
 - **dell_omsa_deduplicate_clear**
 - **dell_equallogic_clear**
 - **dell_equallogic_deduplicate_clear**
- 8 **Visual** (ビジュアル) → **Conversions** (変換) と移動して、**Class** (クラス) を展開します。
- 9 **Dell Server (2080)** および **Dell EqualLogic (2085)** を右クリックして、これらを削除します。
- 10 **Event List** (イベントリスト) を開き、**File** (ファイル) → **Resync** (再同期化) → **All** (すべて) と選択します。
- 11 ObjectServer がインストールされたシステムの **%OMNIHOME%** ディレクトリから、Dell EqualLogic 統合では **delleql_int_objectserver.ver** ファイルを、Dell サーバー統合では **dellserver_int_objectserver.ver** ファイルを削除します。
- 12 Web GUI を再起動します。

デスクトップ統合のアンインストール

デスクトップ統合をアンインストールするには、次の手順を実行します。
デスクトップクライアントをインストールしたシステムの **%OMNIHOME%** ディレクトリから、
dell_OMNIBus_Connection_SNMP_Configurator_v_1_0.jar、

dell_OMNibus_Connection_SNMP_Helper_v_1_0.jar、snmp4j-2.0.0.jar、dellserver_int_desktop.ver、および dell_config.properties ファイルを削除します。

Web GUI 統合のアンインストール

Web GUI 統合をアンインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 Web GUI にログインします。
- 2 Web GUI がインストールされたシステムの <Web GUI インストールディレクトリ> から、Dell EqualLogic 統合では **delleql_int_webgui.ver** ファイルを、Dell サーバー統合では **dellserver_int_webgui.ver** ファイルを削除します。
- 3 Web GUI コンポーネントをインストールしたシステムの <Web GUI インストールディレクトリ> から **dell_OMNibus_Connection_SNMP_Configurator_v_1_0.jar、dell_OMNibus_Connection_SNMP_Helper_v_1_0.jar、snmp4j-2.0.0.jar、および dell_config.properties** ファイルを削除します。
- 4 **Administration** (管理) → **Event Management** (イベント管理) → **Tool Creation** (ツール作成) と移動します。
- 5 **Launch Dell Server Administrator Console** (Dell Server Administrator コンソールの起動)、**Launch Dell Server Administrator Web Server Console** (Dell Server Administrator ウェブサーバーコンソールの起動)、および **Launch Dell EqualLogicGroup Manager Console** (Dell EqualLogic Group Manager コンソールの起動) 選択して、**Delete** (削除) をクリックします。
- 6 **Administration** (管理) → **Event Management** (イベント管理) → **Menu Configuration** (メニュー設定) と移動します。
- 7 **Administration** (管理) → **Event Management Tools** (イベント管理ツール) → **CGI Registry** (CGI レジストリ) と移動します。右ペインで **omsalauncher_linux.cgi** を選択して、**Unregister** (登録解除) をクリックします。
- 8 **Administration** (管理) → **Event Management Tools** (イベント管理ツール) → **CGI Registry** (CGI レジストリ) と移動します。右ペインで **omsalauncher_nt.cgi** を選択して、**Unregister** (登録解除) をクリックします。
- 9 右ペインで **Dell Tools** (Dell ツール) を選択し、**Delete** (削除) をクリックします。

- 10 **Alert** (アラート) メニューから Dell ツールが削除されたことを確認します。
- 11 Web GUI を再起動します。